

# かくどけい

114号

KAKUDOKEI 2014



公益社団法人  
熊本県理学療法士協会  
Kumamoto Physical Therapy Association

広報誌「かくどけい」  
平成 26 年 3 月 24 日 発行



- 001 巻頭言 「 診療報酬改定と理学療法士 」 筒井 宏益
- 002 理事会報告
- 009 各部・委員会報告
- 生涯学習部
- 福祉部
- 保険部
- 渉外部
- 宣伝部
- 教育部
- 学術部
- 法人事業審議委員会
- 表彰審査委員会
- 学術事業部
- 014 大観望 『支援・応援』 大籠 安男  
『変化』 前田 英児
- 015 事務局だより
- 016 くまもと北から南から
- 017 学会・研修会印象記
- 018 他士会便り 「職業って？」 神奈川 No. 255
- 019 くまもとの理学療法情報 PT Walker 熊本
- 020 よろず運動療法相談所 「糖尿病患者さんの運動について」
- 021 医療・介護お役立ち情報 「自立を促す介護のポイント：歩行介助編」
- 022 事業予定表
- 023 学会・研修会のお知らせ  
『日本訪問リハビリテーション協会 第4回学術大会 in 熊本  
「地域包括ケア時代の訪問リハビリテーション—その多様性と可能性—」』

編集後記

熊本県理学療法士協会広報部では皆様からの投稿をお待ちしております。医療や介護に関するトピックスや学会・研修会・勉強会の情報など理学療法士として伝えたい情報をお寄せください。

発行 奇数月の月末 6回/年

投稿の方法 協会事務局に原則としてメールで送付してください。

原稿の採択 「投稿規定」に則りその内容を検討し、掲載可否について審議し決定します。なお掲載にあたり、広報部より誌面の関係上原稿について執筆者との協議を通じて、内容の変更をお願いすることがあります。

お問合せ先 (公社) 熊本県理学療法士協会事務局

TEL 096-389-6463

E-mail kpta\_kat@mtg.biglobe.ne.jp

## 『 診療報酬改定と理学療法士 』

理事 筒井宏益（江南病院）

ソチ五輪のノルディックスキー・ジャンプ男子ラージヒルで、41歳の葛西紀明選手が銀メダルを獲得しました。葛西選手は、競技選手生活を送るにはあまりに不遇な生活と、度重なる自身の環境や肉親のアクシデントに見舞われながらも、そのすべてを自らのエネルギーに転換し、日本選手団最年長のメダリストになった姿は、私達にも勇気と希望を与えてもらいました。

松下幸之助は、「逆境、それはその人に与えられた尊い試練であり、この境涯にきたえられてきた人はまことに強靱である。人生には逆境と順境が配されているからである。順境だけでの人生などありえない。それぞれの世界で頭角をあらわす人は、逆境との闘いに勝った人だ。苦境を活用し、成功の糧とした人だ」と述べています。私自身も、今後様々な困難な場面に直面することもあると思いますが、その場面を上手く活用し、成功の糧にできるよう努力したいです。

社会保障と税の一体改革の一環として、今年4月からは消費税率が8%に引き上げられます。国民の負担増加となるばかりでなく、損税として負担してきた医療機関等では死活問題となります(損税とは、例えば医療機関や、身体障害者物品の販売などに関わる事業を行っている事業者は、消費税売上高が「非課税」とされている取引が多いため、その非課税売上に係る仕入を行った場合、その仕入に係る消費税は売上から控除することなどができないため、これらの事業者に係る消費税負担額が大きくなってしまうという問題です)。そのなかで団塊の世代が75歳以上に到達し、人口の約3割を高齢者が占めるとされる2025年にむけて、国は『地域包括ケアシステム』を推進しております。これは、国民の皆様方が病気などの原因によって障がいを持ち、手厚い介護が必要となったとしても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域の包括的な支援・サービス提供体制(地域包括ケアシステム)構築を目指していくものです。

理学療法士協会の会員においては、今回の診療報酬改定内で急性期入院医療管理料が廃止され地域包括ケア病棟入院料が新設されました。その中でリハビリテーション料は出来高から包括化に移行しています。これは、将来的なりハビリテーション医療の包括化の兆しと考え、大変危惧しています。現在の医療制度のなかでは、理学療法士は出来高制に守られている要素があり、理学療法士が多く在籍し18単位程度取得していることで、施設側の収益がある程度確保されているため、待遇面でも比較的保障されている部分がありました。ところが、包括化に移行すると理学療法士の実績が具体的に示しにくくなり、基準定員のみでの運用や待遇低下なども考えられ、結果として様々なリハビリテーションサービスの質低下につながりかねません。その中で、理学療法士は専門家として、生き活きとした地域社会の確立、国民の皆様が安心できる地域の暮らしを目指して最大の努力をしていかなければなりません。我々の真価が問われるのはこれからです。我々、理学療法士の進む道は決して順境なものだけではありません。逆境もエネルギーに転換してこそ将来に光明がさすと思われまます。皆で協力して激動の時代を乗り越えていきたいものです。

最後に再び松下幸之助の言葉の中から、「いま立っているこの道、いま歩んでいるこの道、ともかくこの道を休まず歩むことである。自分だけしか歩めない大事な道ではないか。他人の道に心奪われ、思案にくれて立ちすくんでいても、道は少しも開けない道を開くためには、まず歩まねばならぬ。それがたとえ遠い道のように見えても、休まず歩く姿からは必ず新たな道が開けてくる。深い喜びも生まれてくる。」



# 理事会報告

## 平成25年度 第10回理事会議事録（要約版）

日時：平成25年12月11日（水）19：08～22：06

場所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：

理事：北里・大島・前田・坂崎・飯星・佐藤・三宮・  
田島・筒井・野津原・光本

監事：寺川・中島

欠席者：大脇・川上・野間・増田

書記：福島（介護老人保健施設てんすい倶楽部）  
石黒・吉永（事務職員）

事務職員：石黒・前田・吉永

## 1. 報告事項

### 1) 平成25年度上半期事業監査報告

【寺川監事・中島監事】

<監査報告>

上半期（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）の理事職務執行に関する監査結果報告。

#### 1 監査の方法及びその内容

理事会及び使用人からの情報収集、理事会その他重要会議への出席、併せて関係者からの報告と説明の要求、重要な決裁書類の閲覧などを行った。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度上半期に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその付属明細書並びに財産目録について監査を実施した。

#### 2 監査意見

##### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告法人の状況を適正に示してある。
- 二 理事の職務の執行に関して不正や違反はない。
- 三 平成25年4月1日より公益社団法人へ移行できたことは、大変意義あるものと評価できる。
- 四 公益法人にふさわしい会計のあり方について周知及び予算執行の徹底を願いたい。
- 五 会費納入に関しては、円滑な処理が行えるよう具体的な改善策についての検討を願いたい。
- 六 当協会ホームページの有効活用に向けて、ホームページ内の会員登録の促進を願いたい。

七 平成26年度の組織改正に向けて慎重なる検討を行うと共に、ブロックの有効活用についても、活動が更に推進されるよう検討を願いたい。

(2) 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録の監査結果

一 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は適正に示しているものと認める。

その他、特定の部が下半期に業務が偏っている傾向があるので今後は注意されたい。

## 2) 平成26年度局付理事について 【北里会長】

事務局：前田副会長（大脇理事・佐藤理事）

教育学術局：田島理事（野津原理事・筒井理事）

（サポート：三宮理事・大脇理事）

社会局：光本理事

（三宮理事・増田理事・野間理事）

（サポート：川上理事）

地域局：飯星理事（川上理事）

（サポート：野津原理事・筒井理事）

各理事を局付けとして挙げている。サポート役としての理事も含めて、応援依頼があれば応じていく。

## 3) 平成25年度特別委員会報告

### ◇情報共有推進特別委員会

- ・表彰データの仕様の変更。
- ・緊急時ホームページお知らせシステムの構築については、今年度予算で構築する。1月中実施予定。
- ・システム仕様 概略について

①ID・パスワード共通で3人の使用を想定

②情報を入力できる推奨環境はパソコンのみ

③共通入力データを登録・編集する形

会長他3人でIDとパスワードを共有管理する。スマートフォンやタブレットでの対応は出来ないが、PCのみの対応の方がデータ管理も確実である。会員の協会HP登録が必須となる。

### ◇渉外活動推進特別委員会

熊本城マラソンのボランティア現在8～9名。

### ◇組織検討特別委員会

新体制分掌規程を1月の理事会にて承認頂く。

**4) 保険についての連絡調整 【坂崎専務理事】**

現在保険会社を検討中。

**5) 次年度事業内容並びに予算について**

**【坂崎専務理事】**

次年度事業内容と予算について調整中、確認事項については、すでに各部・委員会・ブロック責任者と確認が取れている。公益事業の比率を上げていきたいので公益で活動するための準備を進めていく。

**6) 第 57 回学術研修会予算について 【学部部】**

資料印刷に関して、すべてカラー印刷で行った。その結果、支出が¥68,362となった。最終的な総収支後の残高は、¥-27,078である。

**7) 委員長の変更について 【事務局】**

呼吸領域小委員会の委員長に九州看護福祉大学大池貴行氏を推薦する。(4月より)

**8) 印刷業者について 【広報部】**

新年度からの印刷業者は(株)太陽社とした。

**9) 平成25年度事業計画等の修正・変更について**

**○福祉研修会**

くまもと県民交流館パレアから、九州中央リハビリテーション学院へ場所を変更して開催する。

**10) 平成 25 年度「熊日・スミセイさわやか介護セミナー」について 【光本理事】**

日 時：平成26年1月25日(土)13:30~16:00

場 所：熊日会館

テーマ：「学んで実践 介助のポイント  
～移乗・車椅子・歩行介助～」

派遣者：上村恭生(熊本中央病院)、他

**11) 第 4 回日本訪問リハビリテーション協会学術大会 in 熊本 【光本理事】**

日 時：平成26年6月7日~8日

場 所：崇城大学ホール・熊本市国際交流会館

テーマ：「地域包括ケア時代の訪問リハビリテーションーその多様性と可能性ー」

主 催：日本訪問リハビリテーション協会

共 催：熊本訪問リハビリテーション研修協議会  
現在演題を募集中。HPに掲載し周知させていく。

**2. 協議事項**

**1) 平成26年度事業計画(案)・予算(案)について**

**【事務局】**

次年度度予算において公益事業比率は概算で57.94%。投資活動支出予定において設備充当費にて事務局専用 PC3 台買い替えを予定。周年事業等準備積立金は積立として残すことはできない。

事業計画については総会を2回開催。事務局の業務内容と予算支出内訳については別紙参照。生涯学習係、厚生部、学部部、教育部の内訳については別紙参照。厚生部予算案の医療保険部及び介護保険部作成の情報提供予算は現在検討中。学部部は58回の学術研修会の予算は単位取得の都合上で分けて設定。教育部の第1回新人研修会開催場所について、変更の可能性あり。専門領域部の内訳は別紙参照。呼吸・循環班の計画案で呼吸・循環班会議内容は現在検討中。

各ブロック計画に関しては、ブロック長会議を9月開催予定。天草ブロックの計画に関して、公益事業の確認後検討。熊本市中央ブロックの計画案で転倒予防教室が2回の開催予定。熊本市南ブロック会場費の拠出年度の修正。北ブロックの予防理学療法勉強会は公益1にて開催できる方向で検討。公益事業において新しい体力測定項目で取り組み始めているので、今後の会議にて検討していく。

公益事業推進部のグランドゴルフ大会について富合町での開催を5年間は継続して行い、その後他地域での活動へ展開。今後公益事業推進部だけでなく、ブロックとの連携も視野に入れる。保健福祉部、医療保険部、介護保険部、広報宣伝部の内訳(別紙参照)に関して、医療保険部の計画で第30回医療保険診療研修会が予定されているが、公益事業の扱いとなる。復職支援は医療保険部とともに厚生部へ移行するので、再修正を行っていく。広報宣伝部の計画案コミュニティボード等を利用した当協会の広報活動は事業から削除する。学会評議員会、選挙管理委員会、政策企画室内訳(別紙参照)に関しては、視察などの交通費も活動予算として含め予算をとっていく。

諸謝礼金は拠出する方向で検討。そのうち主講師の謝礼金に関しては参加費をとらないのであれば1講義5000円、参加費とるのであれば1時間5000円とする方向性で検討する。

中央ブロックの転倒予防教室の開催については、2回から1回に減らすことで検討し報告する。

南ブロック、認知症予防フォーラムについては謝礼金を見直す。交通費についても再度検討。

## 2) 第31回協会賞受賞候補者の推薦について

今回は推薦対象者なし。 **【事務局】**

## 3) 平成25年度熊本県医事・薬事・健康づくり功労者及び優良団体等知事表彰候補者の推薦について

今回は推薦対象者なし。 **【事務局】**

## 4) 平成26年秋の叙勲及び褒章候補者推薦について

今回は推薦対象者なし。 **【事務局】**

## 5) 研修会講師について **【教育部】**

生涯学習ポイント付与対象研修会の講師は、2015年から専門・認定理学療法士がする予定だが、困難であることが予測される。

熊本は特に専門・認定理学療法士が少ない状況。熊本県での研修会を増やし、会員にも専門・認定理学療法士に関して周知する必要がある。

## 6) 賛助会員懇談会日程について **【渉外部】**

日 時：平成26年2月7日(金)19:00～

会 場：メルパルク熊本

内 容：平成25年度事業概要報告・情報交換  
上記開催予定で進める。

以上、閉会

## 平成25年度 第3回拡大理事会議事録(要約版)

日 時：平成26年1月8日(水)19:00～20:00

場 所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：

<代表理事>北里会長

<業務執行理事>大島副会長・前田副会長・坂崎専務理事

<理事>飯星・大脇・川上・佐藤・三宮・田島・筒

井・増田・光本

<監事>寺川・中島

<部長・委員長>山本(総務部)／金子(厚生部)／岩田・今屋(学術部)／前田(教育部)／陣上・西村(専門領域部)／保田(公益事業推進部)／山下(医療保険部)／坂田(広報宣伝部)／仙頭(政策企画室)／大籠(組織体制審議委員会)

<ブロック長>浦上(県北ブロック)／樽山(菊阿ブロック)／塚島(八代ブロック)／水田・立川(天草ブロック)／藤井(県南ブロック)／興呂木・岩崎(熊本市中央ブロック)／塚本・松本(熊本市北ブロック)／富田・久保(熊本市西ブロック)／竹内・湊上(熊本市東ブロック)／尾崎(熊本市南ブロック)

<事務職員>石黒・前田・吉永

欠席者：

<理事>野津原・野間

<部長・委員長>福島(庶務部)／久米野(財務部)／大浦(保健福祉部)／四海(介護保険部)／奥村(選挙管理委員会)

書 記：野口・杉谷(熊本機能病院)

## 1. 会長挨拶

(会長)平成26年の年頭にあたり一言挨拶をする。平成26年4月になると新しい組織での活動が始まる。一致団結してこれを軌道にのせていきたい。昨年12月、日本理学療法士協会組織運営協議会(従前の士会長会議)があり、日本理学療法士協会は、来年度は地域ケア推進に力を入れるように計画をしているとのこと。今後何らかの形で地域ケアに対する会員の状況を把握し対応する必要があると考えている。実際に行うのは県協会や各ブロック単位でその地域の地域包括支援センターを中心とした取り組みになってくると思われる。よって、この点は各ブロックや各部にもお世話になることになる。全体の流れがこのようになっていることを認識して協力していただければと考えている。

(坂崎)平成26年度予算の収入に関して。次年度は約2280名を会員の見込みとしている。入会金・賛助会費を含めて会費収入が約2600万円、研修会事業収入が約740万円となる。市町村の事業等並びに一般事業収入利息等を含めて約3400万円が平成26年度の収入の見込みである。支出について、事務局関連が約1600

万、各部は資料の通りである。公益事業比率は57.39%である。公益比率の50%を超える形で次年度は運営ができると考えている。以上が次年度の収入と支出の予定である。

事業計画について。事務局関連の事業に、庶務部生涯学習係が加わり生涯学習関係の管理にあたる。厚生部の事業は、復職支援、資料提供、親睦スポーツ大会、保険事業、賛助会員懇談会等である。学術部は4回の学術研修会の開催、研究開発事業、学術誌関連事業、学術資料関連事業等が予定されている。

教育部は、第9回臨床実習教育研修会が、管理者教育カリキュラムの第2ステージが行われる予定。専門領域部の活動としては、小児班の小児リハ推進事業、小児研修会等、訪問リハ班の訪問リハ事例集検討等、呼吸・循環班の吸引セミナー、呼吸循環系理学療法セミナー等、糖尿病班の糖尿病対策事業への参加協力等、スポーツ班のテーピングの講習会等が予定されている。中枢神経班だが、会議中心の活動となる予定。

地域局関連として、県北ブロックは、荒尾市健康福祉まつりに参加協力予定。菊阿ブロックは、くまもと車いすふれあいジョギング大会等への協力。八代ブロックは、人吉お城まつりへの協力が予定。天草ブロックは、定例勉強会や天草市健康フェスタへの参加協力を予定。県南ブロックは、水俣市の健康祭りへの参加を予定。熊本市は地区がブロックという形で位置づけが変わる。中央ブロックは、転倒予防教室開催と熊本市健康フェスティバルを担当予定。北ブロックはブロック会議が3回予定されている。北ブロックは、勉強会開催やいきいき健康まつりへの参加を予定。西2つの公益事業が予定されている。東ブロックは、東ブロック連携研修会を予定している。熊本市南ブロックは、認知症予防フォーラムを予定している。日程・会場・テーマも決定している。

公益事業推進部は、第12回くまもと『PTあ！（ピタ）』っと健康講座を「睡眠・栄養・運動」をテーマに開催する。その他、県民健康スポーツ教室、市民公開講座が開催される。保健福祉部は、福祉研修会・介護教室の開催に加え産業理学療法に関する調査が行われる。医療保険部は医療保険診療研修会が5月に予定されている。介護保険部は、介護保険診療研修

会を6月に、ケアマネ講座が9月開催される。試験直前に行われる予定。講師等に関しては現在調整中である。

広報宣伝部は広報部・宣伝部・IT事業部の3部が一つにまとまる。広報誌「かくどけい」がモデルチェンジし一般向けの広報誌として発行される。

学会評議員会関連では、来年は第18回熊本県理学療法士学会が水俣で開催される。

各委員会関連。選挙管理委員会の活動は、日本理学療法士協会ならびに当協会の役員選挙準備が含まれる。政策企画室は、当協会の将来像を見据えながら展開していく事業内容となっている。組織体制審議委員会は諸会議が予定されている。倫理委員会も新しく立ち上がった委員会である。

また、熊本シティFMへの出演、障がい児のデイサービス事業、熊本城マラソンボランティア支援等も行っていきたい。関連団体との会議等は、介護認定審査会、地域リハビリテーション推進会議、県民介護講座検討会議、熊本県健康づくり県民会議、熊本市介護認定審査会、熊本市障害者総合支援法にかかわる審査会、等があげられる。修正等あればお願いしたい。

(筒井)訪問介護検討委員会を訪問看護・訪問介護検討委員会に変更。

(保田)第12回くまもと『PTあ！（ピタ）』っと健康講座の日程が7月20日に決定、場所はパレアである。

(興呂木)熊本市中央ブロックの転倒予防教室の予算内訳を修正したい。

(岩田)第2回理学療法士講習会応用編の参加費を一律15000円に、参加数を40名に変更したい。

(前田)介護保険部の研修会で、日本理学療法士協会が講師の旅費・講習費負担となっているが、今一度確認頂きたい。

(光本)確認をしておく。

(坂崎)予定としてはこれを総会資料の形にして2月の理事会で最終確認をする。修正等あれば連絡をいただきたい。総会資料としてまとめて、次の理事会で確認し、印刷・製本をしたい。

## 2) その他

(坂崎)各部・ブロックからの報告・調整があれば。

(山下)表彰審査委員会からりんどう賞の推薦に関し

て報告したい。りんどう賞の推薦基準が本年度理事会で決定した。これまでは各部長・委員長・ブロック長宛に案内状と推薦状を送っていた。それを本日、理事会で決定してもらう予定。推薦基準を口頭で説明する。必須条件は(1)新人教育プログラムの修了者、(2)会費未納や罰則の前歴がない、(3)理事・各部局・ブロック長・所属長の推薦がある人の3つ。そして、以下の3つのうち2つを満たしている方、(4)入会后3年以上、部局やブロック活動などを献身的に行っている方、(5)三回以上の発表、論文などの学術実績がある方、(6)社会貢献実績やそれに関わる理学療法士以外の資格がある方。以上が条件であるため推薦をお願いしたい。但し2つの条件の部分に注釈があり、3つのうち1つではあるが特に顕著な業績があると認められる方に関しては1つでもいいと記載している。毎年表彰推薦は苦慮しており、一人でも多くの推薦を頂きたい。表彰審査委員会は3月まででなくなるため最終的には事務局や庶務に移行されると思う。

(坂崎)他にはないか。

(塚島)八代ブロックの勉強会が2月12日に帝京大学の関誠氏を招いて熊本総合病院で開催することが決定した。今週中に連絡をする。

(坂崎)財務部からのお願いで、平成25年度決算報告書の期限について、3月9日が第2回の総会の予定日になっており、この日には必ず揃うように提出を。細かい領収書や金額の確認が必要なため、事業が終わった段階で速やかな提出をお願いしたい。3月9日以降に事業がある場合には事前連絡と速やかな提出をお願いしたい。もう1点、交通費の締め切りも3月9日を提出期限としている。非常に煩雑な処理となり決算作業としては、一番大変な部分で時間がかかるため期限を厳守するように。遠方からの参加者は高速料金の領収書が必要となる。ETC等利用される方は、その利用明細書等を必ず添付することがルールとなっている。口頭での申請は支払できない。領収書を利用証書に添えて提出するように。研修会等の参加者への領収書は事務局から発行する。これも時間がかかるため2週間前までには依頼をするように。手元の資料によると会費未納者が221名となっている。2000名程度の会員数であるため10数パーセントの未納率である。会費納入に協力いただけるようお願い

したい。事務局で準備した拡大理事会の議題は以上だが、その他、発言等ないか。

(山下)現在の予算で公益比率はどの程度か。

(坂崎)手元の資料にあるが57.39%となっている。

(坂崎)手元の資料には在宅医療のハンドブックの資料を1部ずつ配布している。

(川上)在宅支援ハンドブックは、地域リハビリテーション協議会が主になり作成した。会員が約20名集まり作成した。同時にウェブ版も入っている。在宅支援ハンドブックで検索すればインターネットでも確認できるようになっている。是非利用していただきたい。

(坂崎)次の総会は臨時総会の位置づけとなる。次年度の事業計画の説明を行う。場合によっては部長・委員長に説明を依頼するかもしれない。

以上、閉会

## 平成25年度 第11回理事会議事録(要約版)

日時：平成26年1月8日(水)20：20～22：15

場所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：(理事)北里・大島・前田・坂崎・飯星・大脇・川上・佐藤三宮・田島・筒井・増田・光本  
(監事)寺川・中島

欠席者：理事：野津原・野間

書記：野口・杉谷(熊本機能病院)

### 1. 報告事項

#### 1)平成25年度特別委員会報告

##### ◇情報共有推進化特別委員会

(田島)報告事項はなし。

##### ◇渉外活動推進特別委員会

(坂崎)熊本城マラソンボランティア16名。

##### ◇組織検討特別委員会

(前田)協議事項で定款細則・分掌規程を協議。

#### 2)第42回医療功労賞受賞者決定について【事務局】

受賞者：今村太泉氏(さかなしハートクリニック)

#### 3)広報誌「かくどけい」について

【広報部】

新広報誌のパイロット版が完成。

#### 4) 日本理学療法士協会組織運営協議会報告

##### 【北里会長】

(会長) 役員講習会は「地域包括ケアシステムにおける都道府県理学療法士会の役割」について。協議事項は、地域包括ケアシステムにおける協会と士会の役割と平成26年度事業計画予算案について。

#### 5) 平成25年度事業計画等の修正・変更について

○糖尿病小委員会研修会

##### 【変更後】

テーマ：「糖尿病患者の理学療法の実際」

内容：講義、グループディスカッション

#### 6) 「熊日・スミセイさわやか介護セミナー」について

##### 【光本理事】

日時：平成26年1月25日 場所：熊日会館2階

テーマ：「学んで実践 介護のポイント」

派遣者：上村恭生・光本しのぶ 計7名

#### 7) 日本理学療法士協会代議員選挙について

##### 【選挙管理委員会】

日本理学療法士協会代議員選挙について、当県は代議員数7、補欠代議員数2の連絡あり。

#### 8) 第57回学術研修会予算について(継続) 【学術部】

(坂崎) 印刷製本費の不足分7,862円を全体の予算範囲内で調整した。

## 2. 協議事項

#### 1) りんどう賞について 【山下表彰審査委員長】

(山下) りんどう賞推薦依頼に関して、(1)従来通り (2)全会員発送 (3)郵送とFAX (4)全てFAXのいずれかと考えた。

(田島) ホームページに内容を掲載、ブロック連絡網でその旨を周知すれば全員に詳細が行き渡る。

#### 2) 規程について

##### 【事務局】

(前田) 定款細則と分掌規程の検討をお願いしたい。細則の変更点は5条3項専務理事が渉外部長を兼務することについて、第6条は局長についての文言表記について、第8条は定時総会への文言変更、各ブロックの表記を変更、常設委員会等の表記及び分野別小委

員会を削除等である。

(審議の結果、下記に修正承認された)

第5条 役員の業務については、次の通りとする。

2 理事は、定款に定めるもののほか組織図に基づいて必要な業務を遂行する。

3 専務理事は、事務局長を兼務する。

4 局長、部長、委員長は、分掌規程に従って会務を分担し業務を遂行する。

第6条 局長、部長、委員長等は、理事会の承認を得て会長が任命する。

2 局員、部員、委員については、局長が局員を、部長が部員を、委員長が委員を選任し会長が委嘱する。

第8条 理事会は、次期定時総会までの会務を執行する。

第10条 交通機関、その他の事項を勘案して県下をおおむね次のブロックごとに区分し、地域ごとの正会員の活動を推進する。

(1) 熊本市中央ブロック (2) 熊本市東ブロック

(3) 熊本市西ブロック (4) 熊本市南ブロック

(5) 熊本市北ブロック (6) 県北ブロック

(7) 菊阿ブロック (8) 八代ブロック

(9) 天草ブロック (10) 県南ブロック

(会長) 部委員会の分掌規程の専門領域部の班分けは、日本理学療法士協会の専門領域に合わせたものと考えている。

#### 3) 東日本大震災 被災者支援活動等に対する厚生労働大臣感謝状に係る推薦について 【事務局】

東日本大震災において、被災者に対し医療・保健に関する活動を行った団体又は個人で、功績が特に顕著と認められるもの。個人については、その功績が特に顕著で活動内容が明確な者。

(大脇) 熊本機能病院を推薦するのはどうか。

(三宮) 最初に声を上げたのはリハ関連では長崎リハ病院と初台リハ病院と熊本機能病院であり、その後10 団体が設立して具体的支援活動となった。個人の活動として、阿蘇温泉病院の林氏が天草学会で東日本大震災への支援活動を発表している。

(会長) 当協会からは、団体として熊本機能病院、個人としては阿蘇温泉病院の林氏を推薦する。

#### 4) 県民会議出席者等について

【事務局】

日時：平成26年2月10日

場所：熊本県庁地下大会議室

内容：健康づくり憲章について・他

増田理事対応

#### 5) 地域包括ケア推進に向けた事業展開について

【北里会長】

(会長) 日本理学療法士協会の次年度の重点事業の一つである地域包括ケア推進に向けた取り組みに対して、熊本県でも重点的に取り組む必要がある。地域ケア会議への理学療法士の関わり状況の把握、予防事業への取り組みに関する教育等、計画的且つ重点的な取り組みが必要。

については、会員と地域包括ケアの中心となると思われる地域包括支援センターに対するアンケートを行い、その実態を把握したい。加えて地域包括ケア推進対応のための特別委員会を来年度1年間時限として設置したい。

(理事) 承認。

#### 6) 地域包括ケア推進に向けた研修会等 【事務局】

##### ① 担当役員の選出について

日程：平成26年2月23日 場所：東京都内

対象：都道府県理学療法士会長、担当役員

内容：地域包括ケアシステム実情を踏まえた取るべき都道府県理学療法士会の方策 他

(会長) 第1候補は仙頭氏、第2候補は大島副会長。両者とも無理であれば、他の理事に依頼する。

##### ② 地域包括ケアシステムの説明について

(会長) 日本理学療法士協会理事が当会へ赴き、地域包括ケアシステムの説明を行うことについては、希望することを前提に日程調整を行う。

#### 7) 平成26年度事業計画・予算案について 【事務局】

(大島) 監事から指摘のあった災害に関わる緊急時大規模災害に関する委員会については如何か。

(会長) 時限を設けて危機管理特別委員会をつくることとする。この特別委員会は、危機管理に対する対応をどのようにするかを検討することと、その審議内容に関して、組織体制審議委員会や各部局へ引き

渡すことを目的とする。

来年度は、地域包括ケア推進特別委員会と危機管理対策特別委員会の2つの特別委員会をおく。

#### 8) その他

(坂崎) 厚生部の保険事業の保険料に関しては、見積もり確認中。

(三宮) 天草ブロック事業に関して、「啓発」に文言修正を。

(大島) 周年事業等積立金に関して確認したい。

(会長) 具体的に決まっていれば積立は可能だが、計画がないと遊休資産としてみられる可能性があるため、予算計上見送った。

(会長) 今回検討したものを元に、細かいところを調整し、事業計画(案)及び予算(案)を仕上げ、次回の理事会で最終的に決定する。

(会長) 日本理学療法士協会の地域包括ケア推進に関するアンケートの中に、「県・市町村の職員を研修会に呼んだことがあるか」などの項目があった。県等の職員を講師に呼ぶことは、つながりを持つ上で効果的であるということである。今後は、熊本県や熊本市の職員で少し上の方あたりを研修会の講師に呼んで、その後いろんな意見交換が出来るような取り組みも考えていかなければならないと思う。各部局やブロックも含めて、市町村との連絡の中で何か事業を行う中で、市や区とタイアップできて、その関係づくりができていけばいいと思う。出来るだけそのような機会があれば、積極的に取り組んでほしい。理事は、そのような点を踏まえて、担当の部局の部長などへのアドバイスなど行っていただきたい。

(増田) 平成24年度の協議事項の中で残っていた特定保健指導における保健師への指導に関して、特定保健指導に関する業務規程があることから、理学療法士が関係して指導するのではなく、腰痛予防などアシストができればと相談受けたが、今回理学療法士協会の方でも産業理学療法あるいは予防理学療法でできるようになったことから、取り下げてよいか。

(理事) 了承。

以上、閉会

# 各部・委員会報告

## 生涯学習部 部長 當利 賢一

◎ 平成 26 年度から生涯学習部は新体制になります  
 生涯学習部は、組織編制のため平成 26 年 4 月から教育部、庶務部へ移行し活動を行います。  
 活動内容自体は今までと大きく変わらず、役割を二分割するかたちとなります。詳細を以下に示します。

### 生涯学習部

#### 教育部 卒後教育班 新人教育プログラム係

- ◆ 第1回新人研修会の開催  
平成26年6月21日(土)
- ◆ 第2回新人研修会の開催  
平成26年8月16日(土)・17日(日)
- ◆ 第3回新人研修会の開催  
平成26年9月20日(土)・21日(日)

#### 庶務部 生涯学習係

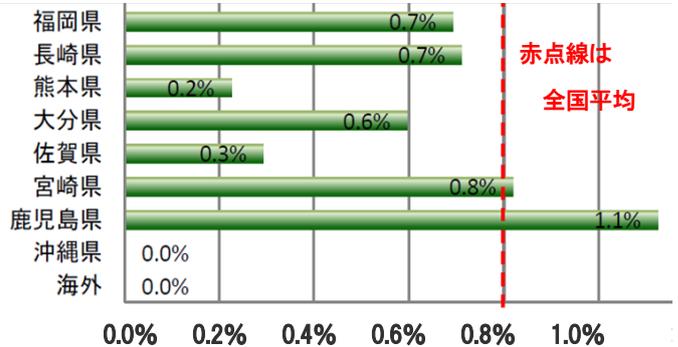
- ◆ 新人教育プログラム、認定・専門理学療法士研修会のセミナー登録
- ◆ 新人教育プログラム、認定・専門理学療法士の単位、ポイント認定の申請
- ◆ 部長等への入退室管理システム(カードリーダー)使用方法の周知

### ◎ 熊本県の認定・専門理学療法士の現状

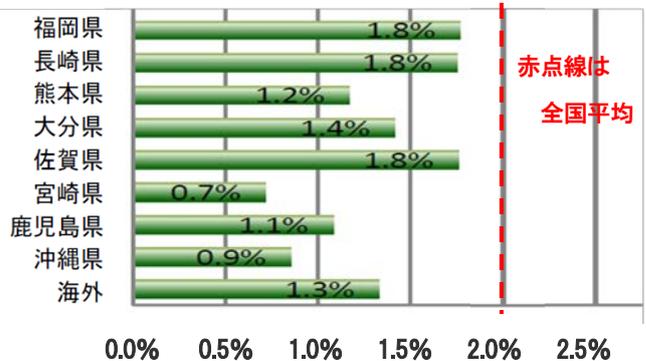
熊本県の認定・専門理学療法士取得者の割合は、全国平均を下回っている現状です。また、九州県内でみた場合でも、他の県と比べ取得者割合は低くなっています。このため平成 26 年度は一人でも多くの会員の皆様が認定・専門理学療法士の取得を目指していただければ幸いです。

※詳しくは日本理学療法士協会 HP マイページのお知らせ中にある「会員の皆様へ認定・専門理学療法士の

### 認定理学療法士 都道府県別 取得者割合



### 専門理学療法士 都道府県別 取得者割合



#### ・お問い合わせに関して

ご質問は随時受け付けておりますが緊急の場合以外はメールにてお願い致します。

メールアドレスは… [kpta.lld@gmail.com](mailto:kpta.lld@gmail.com)

緊急の場合は…

部長: 當利賢一 (所属: 介護老人保健施設 清雅苑)

096-345-8112 内線 7308

## 福祉部 部長 木原 伸一

福祉部の活動について、ご報告いたします。

去る、平成 26 年 2 月 22 日(土)「第 3 回介護保険領域における研修会」を開催いたしました。講師を、NPO 全国在宅リハビリテーションを考える会の理事長でもある、「塩中 雅博先生」(理学療法士: ポシブル医科学株式会社 代表取締役)をお呼びして、「在宅リハビリテーションの未来(ポシブルの展開と展望)」という

テーマで講演していただきました。主な内容としては、今後の日本を取り巻く医療・福祉・介護関係の展望と課題、地域包括ケア体制実現を含めて地域リハビリテーションの中で、在宅療法士に求められるのは何か、リハ特化型通所の可能性などを含めたポシブル医科学(株)の全国的な展開、今後の訪問リハビリテーションの可能性や特区の取り組み、今後の療法士へリハビリテーションマインドを大切にしてほしいなどのアドバイスなどを講演していただきました。会員33名、非会員5名、福祉部部員など、参加された方からは「大局的な視点やヒントをいただいた」「将来的に希望が見えた」などの前向きな感想をいただき、先生への終了後の質問にも列ができていました。好評をいただいた研修会となり、有意義な研修会となりました。ご協力いただいた皆様方、大変ありがとうございました。

最後になりますが、熊本県理学療法士協会の新体制をふまえて、現福祉部は2つの部へと発展的移行となります。私自身長年福祉部を担当させていただき、部長としては至らない点も多かったと存じますが、会長や執行部の先生方にご指導いただきながら、高口前部長、西副部長をはじめ多くの福祉部の皆様のご多大なご協力をいただきながら、お蔭で多くのことを学ばせていただき、大変感謝しております。この場をお借りしてお礼を申し上げたいと思います。

皆様、本当にありがとうございました。今後ともご指導いただけますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 保 険 部                      部 長 河 島 英 夫

平成26年度より保険部は、医療保険部と介護保険部に分かれて活動することになります。昨今の医療情勢の変化は激しく、保険診療情報も多岐にわたっており、迅速な情報の提供が求められております。しかし私自身の問題によって、問い合わせに対して電話での対応をすることが出来ず、メールのみでの対応にしておりました。会員の皆様には多大なご迷惑をおかけいたしました。深くお詫び申し上げます。

2年間と短い期間ではございましたが、部員の皆様のご協力によって円滑に活動できましたことに深く感謝しております。本当ありがとうございました。新組織では2名の新しい部長をお迎えして出発いたします。

より柔軟に情報提供ができる体制を準備しておりますので、今後とも医療保険部ならびに介護保険部をよろしくお願いいたします。

## 渉 外 部                      部 長 坂 崎 浩 一

### ・熊本城マラソン2014 支援ボランティア

2月16日に開催された、熊本城マラソン2014に、今年も当会より支援ボランティアとして参加した。

場所は熊本市平田町で35km地点。北里会長含む16名の会員が、ストレッチ・マッサージを施行し、ランナーの”もう一頑張り”を支援した。



## 宣 伝 部                      部 長 草 野 隆 夫

○ユニホームの貸し出し

平成25年12月1日(日)

北地区の活動にて

平成26年2月16日(日)

熊本城マラソンボランティア活動にて

～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．  
九州北部豪雨で被災された皆様、東日本大震災の被災者の皆様へ心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

教育部 部員一同

～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．  
教育部の前田です。平成 25 年度も終わりを迎えようとしています。皆様のご協力により、平成 25 年度も大変充実した 1 年を送ることが出来ました。心からお礼申し上げます。

平成 26 年度は診療報酬改定があり、地域包括ケアシステムの実現に向けた取り組みがいよいよ本格化してまいりました。我々を取り巻く環境も一気に変化していきます。個の大きな波をチャンスとできるよう、頑張っていきたいものです。そのような中、当教育部と致しましては、引き続き臨床実習、卒後(新プロを含む)、管理者教育を 3 本柱として会員の資質向上に努めてまいります。ぜひご協力のほどお願い致します。皆様のよりよき学びを提供できるコンテンツをと計画しておりますのでどうぞご期待下さい。

さて当教育部では各研修会やお役立ち情報等の情報を、熊本県理学療法士協会ホームページを通じて発信してまいりますので、ログイン ID の登録、ならびに公益社団法人日本理学療法士協会（以下：JPTA）のマイページ登録(どちらも無料)をよろしくお願い致します。

☆各班の活動です

◎卒後教育班：平成 26 年度は旧生涯学習部の新人教育プログラムの研修会「第 1 回（6 月 21 日開催）」「第 2 回（8 月 16 日、17 日開催）」「第 3 回（9 月 20 日、21 日開催）」運営機能を加え、従来の卒後教育研修会「リスク管理（8 月 24 日開催）」と「問題解決についての研修会（10 月 19 日開催）」も開催いたします。どちらも昨今問題となっている若手セラピストの臨床能力の標準化や向上において必要不可欠な内容の研修会ばかりです。基礎があってこそその応用、発展であると思えます。ポイント取得だけでなく、自己研鑽のためにも多くの会員の皆様のご参加をお願い致します。

◎臨床実習教育班：臨床実習教育班は、平成 26 年度は引き続き CE (Clinical Educator) の育成カリキュラム作成と SV の手引き改定に向けた活動を中心に行っております。第 9 回臨床実習教育研修会は「クリニカルクラクシップについて」と題して 6 月 29 日（日）開催いたします。講師は中川法一先生、濱田浩樹先生をお呼びしております。奮ってご参加下さい。詳細は当協会 HP 等でお知らせいたします。

さて！「熊本県版スーパーバイザーの手引き」はもうお読みいただきましたか？各施設 1 部の配布ですが、PDF にて熊本県理学療法士協会ホームページ (<http://www.kumamoto-pt.org/>) お役立ち情報のページよりダウンロードできますのでぜひご一読いただき、臨床実習教育の参考にしていただければと思っております。ご意見もどしどしお寄せ下さい。皆様の力でこの手引きを育てていきましょう。

◎管理・運営教育班：いよいよ第 2 ステージ開講に向けて準備を進めております。内容も含めて日程までほぼ固まりました。4 月にはご案内できると思います。今回も魅力的なコンテンツを準備する事が出来ました。定員は少ないですが、奮ってご参加下さい。第 1 ステージのフォローアップ研修会も 9 月に予定しております。こちらまよろしくお願ひ致します。もちろん今後もご意見ご要望等をどしどしお寄せ下さい。

☆教育部のビジョンは...

●現状における臨床実習教育の課題を抽出し、標準的指導指針を模索する。そのテキストとして、日本理学療法士協会発行の臨床実習の手引き（第 5 版）を用い、養成校、臨床実習施設の共通目標を確認する。

●理学療法士としての専門的知識や技術の重要性もさることながら、卒前教育の限界と卒後教育での課題と思われる基礎的な項目の習得の一助となる教育システムの構築を行う。

●上記内容を把握し、人材（財）育成、組織的管理のできる管理者を育成し、理学療法士の職域拡大や就労後の教育レベルの向上を図る。

教育部に対するご意見・ご要望等ございましたら、私（前田） [rptmaeda@yahoo.co.jp](mailto:rptmaeda@yahoo.co.jp) までご連絡下さい。

平成 25 年度の学術部活動はすべて滞りなく終了いたしました。ご協力いただきました会員の皆様には深く感謝いたします。平成 26 年度の学術部は新たに 3 つの班に別れ、これまで以上に充実した活動を行っていく予定です。詳しい活動内容は次回の会誌よりご報告して参ります。

平成 26 年度の学術研修会も充実した内容で開催する予定です。公益法人を取得した県協会の活動理念に基づき、これまで以上に広く医療従事者の質向上に寄与してまいります。

今後とも会員皆様のご理解とご協力のほど宜しくお願い致します。

#### 《平成 26 年研修会ラインナップ》

##### 『第 58 回学術研修会』

テーマ：「よくわかる！医療従事者のための統計学」

日 時：平成 26 年 6 月 14 日（土）

15:00～18:00

講 師：対馬 栄輝 先生

（弘前大学大学院保健学研究科健康支援科学領域老年保健学分野・弘前大学医学部保健学科理学療法学専攻准教授）

会 場：九州中央リハビリテーション学院

定 員：80 名

##### 『第 59 回学術研修会』

テーマ：「股関節の理学療法 up date」

日 時：平成 26 年 6 月 15 日（日）

9:00～16:00

講 師：対馬 栄輝 先生

（弘前大学大学院保健学研究科健康支援科学領域老年保健学分野・弘前大学医学部保健学科理学療法学専攻准教授）

会 場：九州中央リハビリテーション学院

定 員：50 名

##### 『第 60 回学術研修会』

テーマ：「機能解剖学的視点に立った膝関節の理学療法」

日 時：平成 26 年 9 月 13 日 14:00～18:00

14 日 9:00～16:00

講 師：林 典雄 先生

（中部学院大学リハビリテーション学部理学療法学科教授）

会 場：九州中央リハビリテーション学院

定 員：50 名

##### 『第 61 回学術研修会』

テーマ：「脳卒中患者の歩行を考える」

日 時：平成 26 年 11 月 16 日

9:00～16:00

講 師：大畑 光司 先生

（京都大学 医学研究科人間健康科学系専攻理学療法学講座 講師）

会 場：九州中央リハビリテーション学院

定 員：80 名

##### ◆第 2 回理学療法士講習会(応用編)◆

テーマ：「下肢疾患の理学療法

～局所機能のつくり方と運動連鎖の応用～」

日 時：平成 26 年 7 月 12 日、13 日

9:00～16:00

講 師：園部 俊晴 先生

（関東労災病院中央リハビリテーション部主任理学療法士）

今屋 健 先生

（関東労災病院中央リハビリテーション部主任理学療法士）

会 場：熊本保健科学大学

定 員：40 名

#### 法人事業審議委員会 委員長 大籠 安男

ご承知の通り熊本県理学療法士協会は平成 26 年度から組織が再編されます。それに伴い法人事業審議委員会は発展的に解消となります。当委員会は平成 6 年に熊本県理学療法士協会が法人格を取得したと同時に発足し、今年度で 20 年目。私は 4 代目委員長として平成 15 年から就任させていただきました。こんな私が今日までやってこれたのも第 6 代会長の小川先生、第 7 代会長の森重先生、現会長の北里先生、専務理事の坂崎先生、またご協力いただいた各理事・代議員の先生方、歴代の委員長、毎回多くの資料に目を通しまとめて頂いた委員の先生方、快く協会活動に出させてくれた職場の方々、協会事務局の方々、そんな皆様から優しく見守っていただいたおかげです。心より感謝致します。

その感謝の意を込めて今まで関わっていただいた方々をお招きし盛大に“打ち上げ”を行ないました。当委員会

の創始者でもある小川先生にもお越しいただき設立時の想いもお話しいただきました。組織が再編されても我々はその想いをしっかりと引き継いで行きたいと思えます。今まで法人事業審議委員会の活動にご協力いただきました全ての方に心より感謝申し上げます。

## 表彰審査委員会 委員長 山下 智弘

今年度も残りわずかになりましたが、『平成25年度協会会員表彰りんどう賞』候補者推薦の時期になりました。

本年度から協会表彰規定により『りんどう賞推薦基準』を熊本県理学療法士協会会員で以下の条件を満たすものと致しました。

### 必須条件

1. 新人教育プログラム修了者。
2. 会費未納や罰則などの前歴がない。
3. 理事・部局長・ブロック長または所属長の推薦がある。

### 以下の条件を原則2項目以上満たしているもの

4. 入会后3年以上、部局又はブロック活動などを献身的に行っている。
  5. 3回の発表・論文などの学術実績がある。
  6. 理学療法士としての社会貢献実績やそれに資する理学療法士以外の資格がある。
- \*4.5.6のうち、一つではあるが特に顕著な業績があると認められるものも推薦することが出来る。

残念ながら昨年度は、該当者がいらっしゃいませんでした。部局長・ブロック長等の方々に、「りんどう賞候補者推薦依頼文」ならびに「推薦書」をお送りしております。また各ブロック長の方は、ブロック内の各施設所属長の方にも推薦のご案内をよろしくお願い致します。1人でも多くのご推薦をよろしくお願い致します。

表彰は、5月に開催予定の『平成26年度第1回熊本県理学療法士協会総会』におきまして行われますので、**3月31日まで**にご推薦下さるようお願い致します。

また、平成25年度新入会会員ならび全会員の方々を対象に「表彰に関するデータ入力」の案内を、「かくどけい110号・112号」に掲載しております。本年度中の入力を是非お願い致します。

本年度で、表彰審査委員会は統合されなくなりますが、今まで会員の皆様、委員会活動へのご理解・ご協力ありがとうございました。

<候補者推薦ならびに入力に関する問い合わせ先>

〒869-0532 宇城市松橋町久具 691

宇城総合病院 リハビリテーション部

TEL: 0964-32-3111 (内線: 695)

E-mail: [ukisogo-rehashien@reimeiki.jp](mailto:ukisogo-rehashien@reimeiki.jp)

担当: 山下 智弘

## 学術事業部 部員 松村 忠明

### 第46回市民公開講座 開催報告

#### 「肩こりについて

#### ～ストレートネックを含めて～

平成25年12月1日(日)に熊本総合医療リハビリテーション学院で第46回市民公開講座「肩こりについて～ストレートネックを含めて～」を開催致しました。

看護師、保健師、介護福祉士、作業療法士、理学療法士など多くの職種の方が計29名参加されました。

講師には理学療法院 フィジオ・ラボの院長である福本和仁先生を迎え、PCのスライドによる講義と解説を交えた実技を実施して頂きました。

講義の内容としては、はじめに肩こりの基礎知識として生理的機序や症状、関連因子などをスライドで説明されました。また、その中で視診・触診による姿勢評価や可動域評価の実技指導がありました。その後、評価の結果をもとに筋点療法やストレッチング、セルフエクササイズなどを実技して頂きました。

今回の市民公開講座は、日常生活で訴えが多い肩こりについて基礎知識から対処方法まで今後の日常生活や職場で活かせる内容であり、受講者にとっても有意義な講義内容であったと思います。



# 大 観 望

## 『支援・応援』

法人事業審議委員会委員長  
有明成仁病院  
大籠 安男

新緑の季節、気候も暖かくなり、なんとなく心ウキウキする季節ですね。この文章が皆様のお手元に届く頃にはきっと桜の花も見ごろを迎えていることでしょうか（もしくは葉桜になっているのでしょうか）。

私の職場も新年度から数名の新しいスタッフを迎えます。新入職員に対し、組織の中で少しでも早く一人前になってもらうために（既存スタッフもそうですが）、チームリーダーとしてどのような支援・サポートが最善なのか…私のテーマの一つです。まだまだそれに対する答えは見えておりませんが、“スタッフ一人一人の行動をよ〜く観察し、その特性を掴んで、適切な個別的な指示・支援を行う事”が必要なのかな〜と言うところまで考えが及んでいるところです。もちろん組織としての理念や目標を共有した上でのことです。

話は変わって、今年2月16日に行われた熊本城マラソンに出場してきました。人生初のフルマラソン。練習という練習はほとんど出来ず、かなり無謀なチャレンジでした。予想通り体はボロボロ！それでも何とか20km→30km→35kmと走り続け、とうとう37キロ地点からは足の痛みから歩くのもままならない状態。それでも何とかゴールしました。ゴールできた理由を振り返った時に、やはり沿道の応援は大変大きな力になったと思います。走られた方は分かると思いますが、沿道からの応援には不思議なパワーが宿っています。特に小さな子供さんからのハイタッチでの応援はググッと力が湧いてきます。なんとも不思議な感覚です。トップアスリートも記者からのインタビューなどで「応援が力となり…」とよく話されますが、まさしくこのことかと実感できた瞬間であり、とても貴重な経験でした。これを部下への支援にぜひとも活かして行きたいと思った瞬間でもありました。私の言葉がどれほどスタッフ一人一人の心に響くかは分かりませんが、頑張っているスタッフの心に響く言葉を発する事が出来る人間力を身に付けたいと切に思います。かといって来年もマラソンに出場するかどうかは明言できません（笑）。

## 『変化』

教育部部長  
(医) 相生会 にしくまもと病院  
前田 英児

ダーウィン曰く、『最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるでもない。唯一生き残るのは、変化できる者である』という言葉をお聴いたことのある方は多いと思います。これが正しいかどうかという議論は別にして、現在の私達の身の回りを見渡してみると、まさに大きな『変化』が起こっているように感じます。

消費税の増税、診療報酬改定、2025年問題に向けた地域包括ケアシステム構築に向けた動きなど、我々だけでなく、社会全体的にも大きな『変化』の時期にさしかかっているという事は疑う余地はないと思います。

こうした中で、私達理学療法士にとっても、大きなパラダイムシフトが求められているのではないかと思います。

目の前の患者さんや利用者さんへの治療技術の向上や研鑽はもちろんの事、自分たち自身の専門職としての社会的な地位や認知度の向上について、本気で考えていかないといけないと思います。

理学療法士の認知度は、まだまだ高いとは言えず、実際に我々が関わったことのある方々からは、必要性や重要性を実感していただけていると思いますが、「理学療法士」という専門職であるという認知がされているかはどうでしょうか？

地域の介護予防や健康増進、スポーツの分野でも多くの理学療法士が活躍していますが、もっともっと多くの力を持った方々が積極的にこうした分野に広がってほしいと思います。

2014年度診療報酬改定は医療における機能分化、在宅医療の推進、医療・介護の連携など、私達にとって甘くはないですが、チャンスも多い改定になります。理学療法士自らの強みを活かし、これから医療・介護だけでなく、健康増進やスポーツなどの分野に、今まで以上に積極的に『変化』し「適応」していける、そして広く社会に必要とされる自立した専門職能として成長できるように、微力ながら教育部としても努力して参りたいと思っております。

来年度も教育部の活動にご理解とご協力を頂きますよう、よろしくお願い致します。

# 事務局だより

(公社)熊本県理学療法士協会 事務局

〒861-8045 熊本市東区小山 2 丁目 25-35  
TEL/FAX 096-389-6463  
E メールアドレス kpta\_kat@mtg.biglobe.ne.jp  
ホームページ http://www.kumamoto-pt.org/

## 会長行動録

- 1/ 7 熊本市介護認定審査会  
：熊本市健康センター新町分室
- 1/ 8 拡大理事会・理事会  
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 1/15 熊本市介護認定審査会  
：熊本市健康センター新町分室
- 1/16 熊本県医療・保健・福祉団体協議会臨時理事会  
：熊本県医師会館
- 1/20 公益社団法人役職員向け研修会：熊本県庁
- 1/23 三役会議：協会事務所
- 1/28 九州理学療法士・作業療法士合同学会決算検討会  
：九州中央リハビリテーション学院
- 2/ 2 日本プライマリ・ケア連合学会第9回九州支部総会・講習会  
：熊本森都心プラザ
- 2/ 3 熊本市介護認定審査会  
：熊本市健康センター新町分室
- 2/ 5 理事会  
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 2/ 7 賛助会員懇談会：メルパルク熊本
- 2/12 熊本城マラソンボランティア打ち合わせ  
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 2/14 熊本地域リハビリテーション支援協議会総会・特別講演  
：熊本県医師会館
- 2/16 熊本城マラソンボランティア：熊本市
- 2/17 日本理学療法士協会地域包括ケアシステム説明会  
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 2/18 三役会議  
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 2/19 熊本市介護認定審査会：熊本市健康センター新町分室
- 2/19 三役会議：熊本セントラル病院
- 2/23 日本理学療法士協会地域包括ケア推進に関する講習会  
：東京都
- 2/25 日本訪問リハビリテーション学術大会 IN 熊本準備委員会  
：清雅苑
- 2/26 理事会  
：熊本総合医療リハビリテーション学院

## 会員数 (H26. 2. 28 現在)

賛助会員 10 社 休会会員 188 名

ブロック名	施設数 〔 ( )内の自宅会員数を 含んでいます。〕	会員数
熊本市	304 (87)	1419
県北	75 (18)	223
八代	82 (12)	286
天草	45 ( 7)	94
県南	18 ( 0)	44
合計	524 (124)	2066

## 掲示板

### ■ 異動・休会・復会・退会等の手続きについて

平成 26 年 1 月より、各種手続きシステムが変更になりました。手続きについての詳細は今号巻末尾をご覧ください。

ご不明な点は事務局までご連絡下さい。

### ■ 会員専用ページログイン申請のお願い

情報の発信・共有のため熊本県理学療法士協会ホームページの会員専用ページへのログイン申請をお願い致します。ログイン申請はホームページの「会員ログイン」からお手続きください。

### ■ 平成 25 年度会費納入について

未だ納入されていない方は日本理学療法士協会より送付されるコンビニ・郵便局用の払込票にて、記載された期限までに納入して頂きますようお願い致します。

### ■ 会費納入用楽天カードのお申込のお願い

会費納入用クレジットカードとして「楽天カード」（年会費無料）へのお申込をお願いします。楽天カードへのお申込は日本理学療法士協会ホームページの会員専用ページからお手続き下さい。





## 県北ブロック

浦上 洋純

日一日と厳しい寒さも和らぎ、この原稿が読まれるころには桜の花が開いているかもしれません。

さて、ブロック長の任に就かせていただき、まもなく1年が経とうとしています。

日頃の業務の合間を縫って様々な協会のお手伝いをしていますと、この作業に携わるまではこれまで続けてこられた先生方の大変さは分からなかったと思います。

思い返せば無我夢中で、あっという間の日々だった気がします。1年ではありましたが大変貴重で意義ある経験をさせていただいたと思っています。また、各地区責任者の先生方にもご協力いただき、こうして無事に終えることができました。この場をお借りしまして感謝いたします。

次年度からは荒尾市の西整形外科の田中先生がご担当されます。今年度以上に盛り立てていただけるように今度は一会員として支えていきたいと思っています。

1年間、本当にありがとうございました。また、広報部の先生方も私の拙い文章に目を通していただいて本当にお世話になりました。

## 八代ブロック

塚島 靖博

桜のつばみも膨らんできました。春ももうすぐですね。

八代ブロックの勉強会を2月12日、熊本総合病院で、帝京大学 准教授 関誠先生を招いて開催いたしました。膝関節の理学療法—変形性膝関節—の講演内容です。八代ブロック会員88名、県南ブロック会員11名、作業療法士4名、学生5名と100名を超える参加となりました。解剖や関先生ご自身の膝の手術DVDや実技も踏まえての勉強会でとても盛況でした。

勉強会終了後は、関先生の同期の北岡先生や四ツ村先生や前ブロック高口先生、光本理事、総勢11名で懇親会でした。

来年度は公益事業として人吉お城祭りに参加する予定です。体力測定と理学療法啓発活動をしたいと思

います。参加できる会員の皆様はよろしくお願いたします。また八代ブロックは宇城地区・八代地区・人吉球磨地区の3か所に分かれているため、再来年度は各地区で公益事業ができるようにしたいと思っています。

## 天草ブロック

水田 順司

まだ寒さが続いておりますが、皆様体調の方は崩されていないでしょうか？私の周囲では子供達や職員にもインフルエンザが蔓延し、感染しないよう日頃の体調管理に気を配り、なんとか持ちこたえております。

さて、天草ブロックからの報告ですが、1月17日に天草リハビリテーション研究会と合同で新年会を開催し、PT、OT、ST 併せて45名の先生方にご参加いただきました。場所はいけす料理やまもとで海の幸を楽しみながら、日頃の臨床の悩みやプライベートな事など熱く語り、2次会、3次会と時間が許す限り楽しみました。

2月には第6回定例勉強会を開催し、テーマを「3年目の先生方の発表」と題し、可動域改善に着目して症例報告を行っていただきました。山本裕輔先生には「膝関節屈曲制限に対する関節包内運動の検討」、富岡詩織先生には「レッドコードエクササイズが関節可動域改善に及ぼす影響 ～胸腰部と腰部～」、野崎憲一先生には「リンパ浮腫による足関節可動域制限」、濱崎結香先生には「股関節の可動域制限について」と題し、それぞれの先生方に発表していただきました。25名の先生方に参加いただき、発表後は各発表者のブースに分かれて意見交換を行い、アドバイスや情報交換などができました。次年度以降も症例報告会は継続していきたいと思っておりますので、2年目の先生方にはご準備をお願いいたします。



天草ブロックの活動としましては3月15日の特別講義をもって終了となります。テーマを『脊柱—圧迫骨折』と題し、井上智博先生に発表していただきます。最後の事業まで積極的にご参加いただき、日々の臨床へ活かしていただければと思います。

今回このかくどけいをもちましてブロック長としての最後の投稿になります。今まで編集をしていただいた広報部の皆様、私のつたない文を読んでいただいた会員の方々へこの場をお借りして、お礼申し上げます。次年度は副ブロック長として公益事業の活動に携わらせていただきたいと思いますので、今後ともご協力をお願いいたします。3年間お世話になりました。

## 県南ブロック

## 藤井 崇浩

「北から南から」も今回で最後になったようです。前ブロック長より引き継ぎ、2年にわたり原稿を書いてまいりましたが、会員の皆さまのお役にどれだけ立てたのか、反省しきりでございます。

県南ブロックでは、2月21日に球磨病院の溝上真也先生をお迎えして、代謝性疾患の勉強会を行いました。糖尿病という病気が、様々な合併症を惹き起こしてしまうことを再確認するとともに、理学療法士としても細やかな観察で、患者様の現状を把握しておくことが必要と感じました。溝上先生が以前県南ブロックに所属されていたこともあり、活発な意見交換をすることができました。

さて県南ブロックでは、平成26年度県学会の担当となっておりますので、月に1度の頻度で会議を実施しております。こう頻回に顔を合わせておりますと、公私問わず様々な話になります。些細なことの積み重ねでしょうけれど、そのコミュニケーションの積み重ねがあれば、施設間の連絡等もスムーズにいくようになります。人の不和は、大概にしてコミュニケーション不足によって生じます。チームワークの向上にも、コミュニケーションは不可欠なものですから。

次回の県学会は、県士会が公益社団法人として初めて開催する会でもあります。松下幸之助氏は「会社は社会の公器である」という言葉を遺されました。また稲盛和夫氏は「才能を私物化してはならない」と言われています。「公器としての理学療法」を、社会に還元していかなければならないと思います。厚労省通達では「予防理学療法」に関することを明記されており、予防の分野にも理学療法士が積極的に関わっていく頻度が上がっていくことは必至です。ますます市民との距離が近くなって行くものと考えます。理学療法士の職域の拡大と共に、私たち理学療法士の技量や人間性が益々問われる時代になります。

最後に、論語の一節を紹介して、終わりにしたいと思います。「これを知る者は、これを好む者に如かず。これを好む者は、これを楽しむ者に如かず」(擁也第六、20)。楽しく仕事をしてまいりましょう。



## 学会・研修会印象記

『回復期リハビリテーション病棟協会

第23回 研究大会 in 名古屋に参加して』

メディカルケアセンターファイン 大田祥誉

平成26年2月7、8日に名古屋国際会議場で開催された、回復期リハビリテーション病棟協会第23回研究大会にて発表してきました。発表内容は、急性骨髄性白血病(以下、AML)の治療中に脳梗塞を発症されADLが全介助レベルになられましたが、急性期病院から在宅関連職種に至るまでの円滑な連携を図ったことで在宅復帰に至った症例についてです。まず急性期病院との連携に関しては、症例は急性期病院と当院回復期リハビリ病棟を何度も転院を繰り返されました。その際、急性期病院と症例の状態について密に情報共有したことで、AML治療とリハビリのどちらを優先すべきかを判断しやすく、両者を効率良く行えました。また、在宅関連職種との連携に関しては、早期より家屋改修やサービス調整などの連携を図りたかったのですが、症例の状態が不安定で予測ができなかったため、どのような状態でも対応できるよう在宅関連職種の方と様々なプランニングを行っていたことで、円滑な在宅復帰に繋がりました。今回の症例を通して、回復期病棟だけのチームアプローチのみでなく、家族を含め急性期病院から在宅関連職種までが1つのチームとして機能することの重要性を再認識できました。

また、他院の研究や症例に対する取り組みを聞くこともでき自分自身とても刺激になりました。中でも興味深かったのは認知症患者に対する取り組みでした。当院も認知症患者の占める割合は非常に高く、病棟生活からリハビリの実施に至るまで難渋することが多々あります。そのため、BPSDの軽減を図るため遊びリテーションや夕活など積極的な取り組みをしていますが、個々に対する十分な対応はできていません。今後、他院で取り組まれている内容を参考にしながら、BPSDに対するアプローチのみではなく、患者個々の根底に存在するニーズにも目を向け、理解したうえでアプローチを行いたいと思います。そして、ADLの改善のみでなくその人らしい生活できるよう介入していきたいです。



# 怠り神奈川 士会

## 『職業って?』

イギリスのロバート・リンドという随筆家が、『怠け者の怠けた考え』のなかで「この世で何が楽しいと言って、やらなければならない仕事が山ほどあるのに、それをぐずぐず伸ばして、もう少し暖炉にあたっていたい、音楽を聞いていたい、と思うあの瞬間ほど楽しいものはない」と述べている。この気持ちは十分に分かる方も多いでしょう。中には仕事をギリギリまで伸ばし一気に片づけてしまい達成感を得られる方もいるでしょう。よし悪しは個人の判断に委ねますが、少し職業（仕事）について考えてみたいと思います。

昨年9月8日、東京オリンピック招致が決定されました。前回の東京オリンピックは49年前（昭和39年）で開催日に合わせて、東京－大阪間に新幹線が開通しています。今回も、「あの夢をもう一度！」と多くの方が東京招致を願っていたことでしょう。現在、東京－新大阪を2時間40分で結んでいる東海道新幹線ですが、当初は東京－大阪間を4時間半とし、レール幅は広軌（1435mm）で、全線踏切のない立体交差方式で時速150kmの高速列車を走らせ、将来は時速200kmを超える列車を運行する計画であり、昭和14年に審議され、昭和15年に帝国議会で予算案が承認され、翌年には着工されています。このような壮大なプロジェクトが戦前に行われていたことに驚きました。おそらく『やらなければならない仕事が山ほど』あり、仕事に追われないように仕事を追っていき、数々の問題を解決し偉業を達成したと想像できます。このプロジェクトに携わった島秀雄氏は「東海道新幹線は、既存の鉄道技術を生かして、現場が創意工夫することによって完成したのです。技師長のわたしは、まとめ役にすぎ

ません」と発言しています。これには「謙虚」と「感謝」の美しい言葉が含まれていると感じられます。

さて、たいていの人は職業を持っています。みなさんは『職業ってなんですか』と質問され『どう答えますか?』。「職業」、「仕事の定義」、「労働の意味するもの」など各々で回答は異なると思います。単純には「その職業によって生活の糧を得て家族を養うこと」です。あるいは「未来の夢に向かって挑戦する過程」、「仕事は社会の相互扶助の一環」、「要望やニーズに対して状況に応じたソリューション（問題解決法）を提起すること」であるなど、あげればいくらかでもあげられます。私自身は人にはそれぞれ得意な分野があり、その能力を活かして特定の職業につき、それを通して社会に奉仕することが職業の意義だと思っています。稲盛和夫氏は「生涯を通じて打ち込める仕事を持てるかどうかで、人の幸不幸が決まります。まず、働く意義を見つけることです。」「成功に至る近道などあり得ない。熱を持ち続け、生真面目に地道な努力を続ける。このいかにも愚直な方法が、実は成功をもたらす王道なのである。」と主張しています。人生を通して働くことの意味を考えることは重要です。なかなか成果があがらないこともあるでしょう。しかし諦めずに一生懸命取り組むことに価値があるのではないのでしょうか。

考えは言葉となり 言葉は行動となり  
行動は習慣となり 習慣は人格となり  
人格は運命となる これは英国の元首相サッチャー女史の言葉です。これらの言葉の接頭語に「良い」、「悪い」を付けてみてください。自分自身の考えがなければ、言葉として説明できず、行動にも移せません。行動の積み重ねは習慣であり、習慣が人格となることは挨拶・礼儀などで実感できることでしょう。

新たな年の始まりです。職業、仕事の仕方について考えてみてはいかがですか？私自身は冒頭に記載した『怠け者の怠けた考え』に準じており、この原稿締め切りもギリギリでした。一度考え直さなければいけないようです。

（神奈川 No.255）



賛助会員とは、(公社)熊本県理学療法士協会の目的に賛同し、この協会に対し育成、援助を図る個人又は団体のことです

## 帝人在宅医療株式会社 熊本営業所

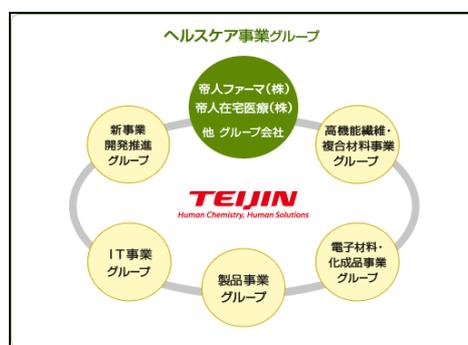
(株)帝人ファーマは、独自の開発力および国内外企業との提携拡大等により、医薬品事業と在宅医療事業において、次々と製品を市場に提供されてきました。

現在は製品開発・サービス提供の重点領域を「骨・関節系」「呼吸器系」「代謝・循環器系」の3領域にフォーカスされています。2つの事業の相乗効果により他社が追従できないユニークなソリューションを実現し、患者の皆様をはじめ医療関係者から高い期待と信頼を得ておられます。

所在地：熊本県熊本市東区尾ノ上 2-23-1

TEL：096-360-7333

### 事業内容



帝人ファーマ株式会社

Human Chemistry, Human Solutions **TEIJIN**

## (有)三栄商会 サンエイ・メディカル

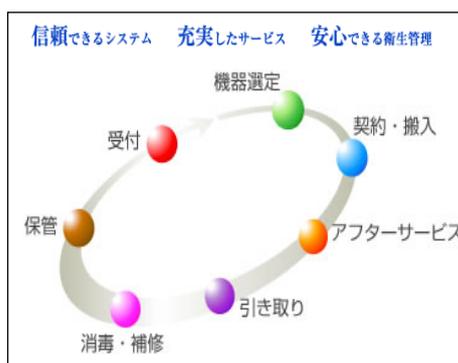
(有)サンエイ・メディカルは、昭和 62 年よりシルバー産業に着手し、「福祉の総合デパート」を目指して歩んでこられました。専門員によるご利用者の方、介護される方の負担を軽減するべく的確なアドバイスや用具機器選定が行われます。展示ショールームの常設や用具消毒庫、保管庫を設け衛生面の管理に細心の注意を払い「いつもあなたのそばにいる」気持ちで介護サービスのお手伝いをされています。

所在地(本社)：熊本県山鹿市中央通 406

TEL：0968-43-7755

FAX：0968-43-7785

### 事業内容



有限会社 三栄商会

**サンエイ・メディカル**



# よろず運動療法相談所

糖尿病小委員会

## 「糖尿病患者さんの運動について」

本委員会は、糖尿病ウォークラリーの参加をはじめ、一般の方や保健師等の健康に関する専門職を対象に運動指導を行っています。糖尿病患者さんに、なぜ運動は必要なのでしょう。今回は運動の効用と、どのような運動を行なうのがよいのかをお伝えしたいと思います。

### 1. 運動の効用

- ① 運動を行なうことにより、**大量のエネルギー**を筋肉で消費します。特に食後に行なう運動は、代謝機能が活性化し患者さんの**食後血糖の過度な上昇を抑えます**。筋力が向上し基礎体力も向上します。
- ② 糖尿病の原因となる、**肥満の防止**になります。ジョギングやランニングといった有酸素運動では**糖質とともに脂肪を燃やし**、体重の減少につながります。
- ③ **ストレスや不安を軽減**し、エネルギーレベル、**ストレス免疫能を改善させ**、**関節や筋肉をより柔軟にする**といわれています。

しかし運動の大切さは理解しているものの実際に運動を行ってみると、どのような運動を行えばよいのか分からずに運動を断念してしまうことも多いでしょう。次に患者さんが楽しみながら行なう運動はどのようなものが良いでしょうか？

### 2. どんな運動が良いか？

**有酸素運動**は、ウォーキング・ジョギング・サイクリング・水中ウォーキングなど**大きな筋肉群をリズムカルに収縮させ**、**一定時間持続する全身運動**をさします。私達が主にお勧めするのが以下の運動です。

#### ① ウォーキング

ウォーキングの効用は、具体的に**心肺機能が高まる**、**血管・骨を丈夫にする**、**生活習慣病を予防する**、**ストレスを解消する**などいろいろあります。ウォーキングでは**背筋を伸ばした正しい姿勢**で行ないます。イメージとしては頭のてっぺんがひもで上に引っ張られているような感じです。視線は**10~15m先を見る**ようにし、あごは軽く上げます。肩の力を抜いてリラックスし、肘は90度に曲げ軽くこぶしを握ります。歩き方は**踵から接地し**、**つま先で蹴り出す**ように歩きます。**歩幅は**普通の歩行より**少し広めを心がけて歩く**とよいと思います。



図1. 基本的な姿勢・歩き方(糖尿病治療研究会編「糖尿病運動療法のでびき」医歯薬出版の図を一部改編)

#### ② 筋力トレーニング

ダンベルやチューブ、自分の体重などの負荷をかけることにより、筋力の向上等を目的とした運動です。運動中は息を止めずに(急激な血圧上昇を防ぐ)行なうことが重要です。特別な器具を使わずに、**椅子からの立ち上がりやクォータースクワット**(背筋を真っすぐにし、つま先とお皿の向きを揃えて軽く膝を曲げる運動)なども有効です。

# 医療・介護お役立ち情報

このページでは理学療法士協会が主催して行なった研修会より、市民の皆様方に医療・介護で役立つ情報をお伝えします。

第6回目は「自立を促す介護のポイント：歩行介助編」をお送りします。

## 歩行や階段の介助

前号までに起き上がり、立ち上がり、移乗などの介助方法をお伝えしましたが、今回は歩行と階段の昇り降りの介助についてご説明します。

- 杖を使用する目的
  - ① 足の筋力が落ちたり、痛みがある場合にそれを補助する。
  - ② ふらついた時など、杖で踏ん張ることで転倒を防ぐ。

### ●杖の高さのチェックポイント

- ① 靴を履いた状態で、肘を軽く曲げ（約30度：写真1）、つま先から15cm程度外側で軽く握れる高さに調整する。
- ② 床面から大転子（だいてんし）までの高さ（写真2）。  
（※ 大転子とは、太もも外側の突出している骨）



写真1



写真2

### ●杖先ゴムの注意点

杖先ゴムがかた減りしていたり、溝がすり減って（写真3）しまった場合は、滑ってしまい杖でしっかりと踏ん張ることができないため、速やかに交換します。



写真3 すり減った底

### ●杖歩行での介助方法（片麻痺患者さんの場合）

介助者は麻痺のある側に寄り添い（写真4）、腰の位置で必要に応じてベルトなどを握ります（写真5）。

その際は、握ったベルトなどを介助者の方向に引っ張りすぎないように注意します。



写真4



写真5

### ●階段での介助

階段の昇りでは、健側（麻痺の無い側）→麻痺のある側で上ります。その際は患者さんの後ろにつき、必要に応じてベルトなどを握ります（写真6）。

階段の降りは、昇りの反対で、麻痺のある側→健側の順で行ないます。前方にバランスを崩したことを想定し患者さんの邪魔にならない位置で、前側に立ちます（写真7）。



写真6 階段の昇り



写真7 階段の降り

# 事業予定表

4月		5月		6月	
日	曜	日	曜	日	曜
1	火	1	木	1	日
2	水	2	金	2	月
3	木	3	土	3	火
4	金	4	日	4	水
5	土	5	月	5	木
6	日	6	火	6	金
7	月	7	水	7	土
8	火	8	木	8	日
9	水	9	金	9	月
10	木	10	土	10	火
11	金	11	日	11	水
12	土	12	月	12	木
13	日	13	火	13	金
14	月	14	水	14	土
15	火	15	木	15	日
16	水	16	金	16	月
17	木	17	土	17	火
18	金	18	日	18	水
19	土	19	月	19	木
20	日	20	火	20	金
21	月	21	水	21	土
22	火	22	木	22	日
23	水	23	金	23	月
24	木	24	土	24	火
25	金	25	日	25	水
26	土	26	月	26	木
27	日	27	火	27	金
28	月	28	水	28	土
29	火	29	木	29	日
30	水	30	金	30	月
		31	土		

- 平成25年度事業監査
- かくどけい第115号発行
- 天草ブロック会議
- 県南ブロック会議
- 熊本市東ブロック会議

- 県南ブロック第1回定例勉強会
- 熊本市東ブロック第1回勉強会
- 第4回県民健康スポーツ教室
- 八代ブロック会議
- 八代ブロック勉強会
- 人吉お城祭り

- 天草ブロック第2回定例勉強会（6/14）
- 第9回臨床実習教育研修会（6/15または6/22、6/29）
- 管理者教育カリキュラム第2ステージ 第1クール
- 熊本市北ブロック研究促進勉強会
- 第15回介護保険診療研修会
- 菊阿ブロック会議
- 天草ブロック会議
- 熊本市中央ブロック会議
- 熊本市西ブロック会議
- 熊本市南ブロック会議
- 荒尾市健康福祉祭り

# 学会・研修会のお知らせ

## 日本訪問リハビリテーション協会 第4回学術大会 in 熊本

### 「地域包括ケア時代の訪問リハビリテーション —その多様性と可能性—」

記

日 時：平成 26 年 6 月 7 日（土）～6 月 8 日（日）

場 所：市民会館崇城大学ホール（熊本市中央区桜町 1 番 3 号）

熊本市国際交流会館（熊本市中央区花畑町 4 番 1 8 号）

対 象：PT、OT、ST、その他医療専門職

受講費： 会員【事前登録】7,000 円 【当日受付】 9,000 円

非会員【事前登録】9,000 円 【当日受付】11,000 円

※尚、当日登録は数に限りがありますのでご了承下さい。

一般公開講座のみ【当日受付】 無料

申し込み：2013 年 12 月 1 日（日）～2014 年 4 月 15 日（火）

参加申し込み・問い合わせ

<http://www.houmonreha.org/kumamoto/index.html>

※上記サイト内の「参加申し込み」より事前登録を宜しくお願い致します。

## 編集後記

次号より広報誌『かくどけい』は大きく変わります。『かくどけい』はこれまでに、時代のニーズに合わせ進化してきました。私も広報部へ入部し約 10 年が経とうとしています。この 10 年、私生活では結婚出産を経験し、女性として、母として考え方も変わり、容姿も進化してきました（笑）。さてこれからの 10 年、20 年どうなるのか。まずは次年度からリニューアルする『かくどけい』をお楽しみに！！（R.M）



公益社団法人熊本県理学療法士協会 広報誌「かくどけい」

号 数 第 114 号 通算 151 号  
発 行 日 平成 26 年 3 月 24 日  
発 行 人 公益社団法人熊本県理学療法士協会  
〒861-8045 熊本市東区小山 2 丁目 25-35  
TEL/FAX 096-389-6463

S T A F F

坂田 大介	岩村 泰年
江口 宏	中野 真実
奥 蘭 彩	富 永 誠
野田 智愛	渡邊 知子
松本 美香	有馬 正英
古川 晃次	中 熊 麗
渡邊 大輔	南 留美子
福田 圭祐	岩見 幸省
紫垣 華苗	野尻 晋一（表紙）

